



Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人

群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」

第148号 2022年4月発行

## 巻 頭 言

# あなたは、作業療法士は、“あて”にされる存在になっているか？

一般社団法人群馬県作業療法士会会長 新井健五  
(介護老人保健施設ミドルホーム富岡)

先日、日本作業療法士協会役員等勉強会に出席し、日本障害者協議会(JD:Japan council on Disability)代表藤井克徳先生の講演を拝聴した。日本障害者協議会(JD)とは、わが国における障害者団体のナショナルセンターとして、国際的な障害者団体や他国の障害者団体との連携を行いつつ、厚生労働省などの行政組織との交渉や、社会や政治への働きかけを行ってきた団体である。多くの障害者団体や難病者の団体、障害者家族の団体、福祉施設の団体、障害に関わる職能団体等、現在62の団体が正会員として参画構成している。もちろん、日本作業療法士協会もそうである。

先生の講演を聞き、また記憶に生々しい「やまゆり園事件」や中央省庁での障害者雇用水増し問題、かつての優生思想や優生保護法がもたらした多くの問題、ナチス・ドイツが行ったドイツ断種法や後のユダヤ人大虐殺の実質的なりハーサルともなったT4作戦(障害で働けない者を抹殺する作戦)等々、知識レベルでは知っていたことが身に迫るように迫力をもって理解する事が出来た。特に、やまゆり園事件の犯人植松死刑囚との幾度にも渡った接見の話は、その歪んだ障害者感に嫌悪した。由々しきことだが、植松の言動を称賛する声がネットの世界を中心に後を絶たないのだという。重度障害者を“怪物”と呼び「不幸を作ることしかしない」という理由で1時間足らずのうちに19人を殺害し26人に大けがを負わせたことをである。個人の思想や思考は、社会や環境の影響を受けながら形成されていくものである。この事件を、あくまで1人の特異な人間がやったこと(個別的要因によるものだと)矮小化して捉え、特殊な事案として片付けたりしてはいけないと強く感じた。

さて、前置きかとても長くなってしまったがようやく本題である。この講演の最後に、永年多くの障害者やその家族の思いを代弁して来られた先生(ご自身も全盲である)からのわれわれへのメッセージとして、『あてにされる作業療法士になってほしい』という言葉が送られた。“あて”にされるとは、何か困ったことに出会った時に、「〇〇さんならしっかり力になってくれそう」「こういうときには〇〇さんがいる」といったように、“頼り”にされる、“期待”できるといった意味だろう。“行動や成果に信用がある”というニュアンスがその真底にはあることは言うまでもない。

あなたは1人の作業療法士として、対象者やその家族から、さらにはチームを組む他職種から、“あて”にされているだろうか？はたして、そもそも作業療法(作業療法士)自体、障害者にとって、職種として“あて”にされるような行動や成果が残せているのだろうか？「あてにされる作業療法士になってほしい」という先生の言葉は、あてになる存在になり得ていないからこそ言われているのではないかと。つまるところ、「お前もつとあてにされる存在になれよ」と発破をかけてくれているのではないかと、私にはそう思えて仕方ないのである。

あなたは、あてにならない人(職種)に大事な仕事を任せられるだろうか？あてにならない人(職種)に相談をするだろうか？あてにならない人(職種)とチームを組んで仕事をしたいだろうか？一旦、あてにならない人(職種)と認識されてしまうと、期待されなくなり、そのうち声をかけてすらもらえなくなる。そうならないように、一人ひとりが“あて”にされる作業療法士になることを意識して日々取り組まなければいけないと私は思うのだ。もちろん、作業療法士の職能団体である県士会も、県民や行政、他団体から“あて”にされる存在になるために取り組んでいかなければならない。

「あてにされる存在」という言葉は私にとっても響いた。これこそ、社会の中にあつて、職能として肝に命じて目指すべき存在のあり方だろうと思った。皆さんはどう感じられるだろうか？

# 特集記事!!

今号では、群馬県作業療法士会の各ブロック、ブロック長について紹介させていただきます。執筆にご協力頂きました先生方には感謝申し上げます。



Check!

副会長 地域局長  
特定医療法人 博仁会 第一病院 リハビリテーション室 室長 柴田全利

県士会における部局が学術局、事業局、事務局そして地域局の4局体制になって4年目を迎えました。今このように地域局として活動ができていけるのもWEB会議や研修会におけるオンライン決済といった準備をしてくださっている事務局だけでなく、何より実際に運用にご協力してくださっている会員の皆様のおかげだと思っております。この場を借りて感謝申し上げます。

なぜ4局体制になったか、地域局が増設されたかに関しては、皆様はすでにご存じかと思えます。地域局増設の目的を端的に申しますと、年々増えている会員の皆様との身近な情報の共有と、地域包括ケアシステム同様に地域完結型の自立した組織としての統制を図ることです。皆様の勤務する地域の身近な専門職の方々や住民の皆様からの作業療法士に対する要望を、その地域で働く作業療法士が関わり解決に導く、その『つなぎ役』で架け橋的な役割を担うべきなのが群馬県作業療法士会であり地域局であるということと理解しております。

地域局が増設されて間もなく新型コロナウイルス蔓延という天災?人災?に見舞われ、対面での活動が制限され地域局の活動自体も出鼻をくじかれた形になってしまいました。しかし、その様な中でも我々地域局は各ブロック支部長を中心に自治体からの講師依頼派遣やWEBイベントの参加など細々と活動しておりました。未だ収束の目途は立ちませんが、自治体や各職能団体との情報通信機器を用いたWEB会議や研修会依頼が徐々に増えてきております。また近い将来、皆様のお力をお借りできればと思います。私としても社会に対してできる事、作業療法士としてやらなければならないことを考えつつ運営に尽力したいと思いますので、今後とも皆様のご支援ご協力の程、重ねてよろしくお願い申し上げます。

## 地域局 基本方針

1. 会員の情報共有及び情報発信の強化  
協会、県士会及び会員間の情報共有
2. 会員の県士会事業への参画促進  
学会・県士会事業及び研修会への参加
3. 地域との連携  
地域事業への積極的な参画促進  
地域に対する作業療法活動の情報発信

## 西毛ブロック支部

◎氏 名 山浦 卓哉

◎所 属 富岡地域医療企業団 公立七日市病院

### 《担当ブロック(エリア)の紹介》

西毛ブロック支部は、高崎市、藤岡市、安中市、富岡市、神流町、甘楽町、下仁田町、上野村、南牧村のエリアを担当しております。どれも魅力的な市町村です!西毛ブロックには世界遺産がなんと2つ(富岡製糸場、荒船風穴)もあります。白衣観音や恐竜センター、ららん藤岡、鉄道文化村などなど観光名所も多数あります。そしてなんと甘楽町にはこんにやくパークだけでなく、めんたいパークが4月にオープンするようです。ぜひ、魅力的な西毛地域に足を運んでみてください!

### 《各ブロックの取り組みについて》

西毛ブロック支部では、学会運営や地域とのつながりとして高崎市の医療・介護連 携フェスティバルへ参加させていただいております。フェスティバルでは地域住民の方との交流や他職能団体との交流など有意義な活動を行わせていただいております。また主任者会議は頻度が少ないものの、主任者同士での有意義な情報交換の場としても活用しております。

### 《今後の取り組みについて》

今後の取り組みに関しては、作業療法士のできることを他職能団体や地域の方々へPRしていきたいと考えております。また、作業療法士の職域拡大を図るために、西毛ブロック支部内の施設の主任者を中心としてより密な関係性を構築して活動を行っていききたいと思います。もちろん、自分だけで出来ることはほぼありません!ぜひ、皆様のお力添えを存分に頂きながら、群馬県作業療法士会の発展と会員の皆様の活躍ならびに県民の皆様を支援していきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします!



## 北中毛ブロック支部

◎氏名 小此木 諭

◎所属 群馬県作業療法士会 北中毛ブロック支部長、福利厚生部理事  
訪問看護ステーションまつかぜ 副主任



### 《担当ブロック(エリア)の紹介》

北中毛ブロックは、前橋地区、渋川地区、利根沼田地区、吾妻地区の4地区のエリアになります。県庁所在地の前橋地区や草津温泉や四万温泉などの吾妻地区、尾瀬や谷川岳など自然豊かな利根地区、伊香保温泉やへそ祭りで有名な渋川地区があります。上毛三山の赤城、榛名に囲まれ雄大な自然と観光が盛んなブロックです。コロナが終息しましたら、溜まった疲れを癒しに温泉に来てください。

### 《各ブロックの取り組みについて》

新型コロナウイルス感染症拡大を受けて対面での活動は出来ていませんが、Webを使用した主任者会議の開催を行っています。主任者会議では各地域での活動報告や病院、施設での感染対策などを情報共有しています。

また、自治体からの講師派遣依頼への対応、北中毛ブロックにおける二次医療圏担当窓口の整備を行ってきました。

### 《今後の取り組みについて》

今年度は第24回群馬県作業療法学会、第7回北関東信越ブロック学会が開催予定となっております。北中毛ブロック支部では県士会の各部をはじめ皆様と協働して学会を盛り上げていきたいと考えております。「面白そうな」テーマを盛り込んだ群馬オリジナルの学会となるように進めてまいりますのでご協力お願い致します。

また、各自治体からの依頼にお応えできるように人材発掘や人材育成ができる体制を整えてまいりたいと考えています。皆様のご支援、ご協力どうぞよろしくお願い致します。

#### ○北中毛支部 事業計画

- (1)以下の企画・運営を行う
  - 1)主任者会議(意見交換会、学会に向けた準備)
- (2)主任者会議での意見交換の内容について取り纏め、必要に応じて情報共有を図る。
- (3)北中毛ブロック主任者代表者連絡先の確認及び修正を行なう。
- (4)北中毛ブロックにおける各市町村の地域支援事業担当部署や担当者との関係を構築する。
- (5)群馬県作業療法士会主催研修等の情報共有ならびにPOS連絡協議会をはじめとした他職能団体研修の案内を行なう。
- (6)理事会、各部署との相互疎通性の向上を図る
- (7)地域局会議を開催し、各ブロック間の意見交換、情報共有、方向性の統一を図る。

#### 事業計画案

- 1)主任者会議について  
方法:ZOOMIによるオンラインでの会議  
(群馬県の警戒度に合わせて対面方式も検討する)  
内容:コロナ禍における地域での取り組みについて。  
第24回群馬県作業療法士学会及び第7回北関東信越ブロック学会の準備を行う。
- 2)地域局会議について  
方法:方法:ZOOMIによるオンラインでの会議  
(群馬県の警戒度に合わせて対面方式も検討する)  
内容:各ブロックにでの活動報告、事業の相談、検討を行う。

## 東毛ブロック支部

◎氏名 今村 雄二

◎所属 株式会社 孫の手(訪問看護ステーション・リハビリ特化型デイサービス)

### 《担当ブロック(エリア)の紹介》

東毛ブロック支部は、玉村町、伊勢崎市、太田市、みどり市、桐生市、邑楽郡となっております。

### 《各ブロックの取り組みについて》

- 太田市の認知症予防事業サロンへの講師派遣
- 伊勢崎市東町の地域包括支援センター(あずまミーティング)講師派遣
- 主任者会議の開催にて情報共有
- 第23回群馬県作業療法学会の運営
- 行政からの研修受講案内の仲介、周知活動。

### 《今後の取り組みについて》

東毛地区では、一部のOTの方々が、各行政の活動に作業療法士として、参加し、作業療法士の活動の可能性や活動の幅を広げるべく動いてきてくれています。

東毛地区には他にも、力強い作業療法士の存在を感じております。もっと幅広い方のお力をお借りして、各行政等からの要望に対応し信頼度、認知度向上をはかり、その作業をともに行う中で作業療法士同士のつながりを作っていければと思っています。



# 群馬県作業療法士会 令和3年度第5回理事会議事録

日時：2022年1月26日(水) 19:00～20:40

Zoom使用でのリモート会議

参加者：新井、関根、山口、柴田、石森、市川、李、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、長谷川、村井、山浦、小林、高橋 17名

## I. 各部議事

### 1. 教育部[報告者：勝野]

#### [報告事項]

1) ブロック長会議 コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。12/1、1/11にzoomにてリモート会議実施。

#### [検討議題]

①研修会予定

1) 現職者共通研修(平日にナイトセミナー形式で実施)

「職業倫理」講師：長谷川副事務局長

2022/2/16にオンライン研修で開催予定。

2) 現職者選択研修(発達障害領域)

講師：北爪先生・十枝先生・今井先生・岩崎先生

2022/1/30にオンライン研修で開催予定。

3) 令和4年度 新人症例発表会 2022年7月24日 開催予定

※スケジュールは下記を参照

12月中 案内開始

2月 参加申し込み締め切り

3月 査読希望者の抄録締め切り

4月 抄録締め切り

5月 スライド締め切り

2) 研修会報告①現職者共通研修「日本と世界の作業療法の動向」

日時：2021/12/15 19:00～20:30

講師：新井会長 参加者：28名

3) その他① 研修会参加費徴収システムについて

事務局主導でPeatixの運用を開始しました。

教育部では1/30の現職者選択研修、2/16の共通研修の受付で運用しています。参加費のキャンセルポリシーは日本作業療法士協会の規定を参考にしています。

#### [審議事項]

1) PCウイルスソフト購入について

教育部ではウイルスバスターなどを購入して1台1台対応しているが、ソフトの期限管理や、新しいPC購入時の追加購入など手間とコストがかかっています。マカフィーはアカウント1つで台数無制限です。県士会で購入を検討していただけないでしょうか？教育部での購入も検討しましたが、他の部でもPCを所有していれば県士会で購入する方がメリットが大きいと思われます。クレジットカード支払いであれば自動更新できるので、手間もかかりません。検討宜しくお願い致します。

・県士会PC保有数9台

教育部：5台(内1台協会) 財務：ノート2台 事務局：2台(内1台協会)

・マカフィー3年間で¥11,000

→ 県士会でまとめて購入で承認。

### 2. 広報部[報告者：都丸]

#### [報告事項]

1) 公益事業グループ

①2021年12月16日に理事・グループ長会議を開催し、コロナ禍で行うことができる広報活動について検討。リーフレット改定はデザイン、内容について完成。理事会にて承認を得たのち印刷依頼方向。年度末に今年度の振り返り、次年度の広報活動について検討予定。

2) ニュース編集グループ

①1月号は編集作業終了し、印刷・発行待ち。

今年度は1月号をもって終了となり、次号は4月となり新年度体制。

②昨年末に部内グループ長会議にて来年度について話し合いを行った。可能ならば来年度以降、各部内に広報担当の窓口を設置して頂き、ニュースへの協力体制強化をお願いしたい。また、来年度からは内容を見直し、参加体制のとれるニュースにしていきたい。ニュース内容の充実を図るため、ご理解とご協力をお願い致します。

3) 広報企画グループ

①リーフレット改訂作業に関して、星野印刷様に依頼中。ラフが届き、修正依頼を行う。印刷費用の振り込み時期、方法について確認中。

#### [審議事項]

1) リーフレットについて、印刷会社より届いた案について、内容、デザイン等のご確認、ご検討をお願いします。(別紙資料)

2) 以前、部の紹介や理事紹介していた事があり、新年度のニュース4月号で地域局のブロック長の先生を写真付きでご紹介する記事掲載案が出ております。4月号は新入会員には届かないが、外部団体等向けに4月号掲載させて頂くのはどうでしょうか。ご検討をお願いします。

→ 承認。

### 3. 地域局

#### [報告事項]

地域局会議

1) 各支部の動向

① 北中毛ブロック 報告者 小此木

i) 地域ケア会議での講義(みなかみ町) 日時：令和3年12月13日13時30分～

場所：みなかみ町総合福祉センター

内容：「コロナ禍における健康増進のワンポイントアドバイス」

ケアマネを中心に看護師やデイサービス管理者等50名ほど出席した。

ii) 福祉用具のパンフレットを持ってあいさつ回り

・利根沼田医師会相談室、片品村、みなかみ町、沼田市に挨拶に行った。

・片品村の担当者より

毎年、福祉用具の業者を招いて研修会を開催している。OTの視点から疾患ごとの福祉用具の紹介などの研修会を検討したいと話があった。今後、福祉用具関連の依頼もあるかと考える。

iii) 次年度の群馬県作業療法士学会の役員会議を行った。

・R3.12.10、R4.1.12に開催。

・R4.3月に第一回実行委員会を開催予定。

iv) 2月に主任者会議の開催を予定。

・学会に向けて実行委員の選出など協力をお願いします。

② 西毛ブロック 報告者 山浦

i) 下仁田ケア会議にて 福祉用具委員会の広報

ブロック支部の担当ならびに福祉用具委員会設置の広報を行った。

包括より：病院から退院時にはフォローできているか、地域にはリハ職の関わらない案件もあるか何か関わりか持てるか？→ 議題2)②

ii) 1/28に主任者会議を行う予定。10数名参加予定

iii) 高崎サロンは中止となった。

③ 東毛ブロック 報告者 今村

i) 太田市介護予防自主グループ 講師派遣6日分 終了。アンケート結果別紙。

ii) 主任者会議は開催済み。11/9

2) あいさつ回りに関して

①福祉用具委員会と連携し、別紙のとおり担当を振り分け行った。

→コロナウイルスの感染急拡大もあり、時期に関しては経過観察し対応。

②相談が具体的にあった際にどうするか？どうこたえるか？

ケアマネ向け研修資料は石森理事が準備中

具体的に研修などを対応できるように準備をしていく。

ゆくゆく相談があった場所の近隣の作業療法士を手配する、つなげる形を目指していけるよう地域局としての挨拶と共に広報、情報収集していく。

直接処遇に関しては、極力・訪問C型などにつなげられるなどを模索必要。

OTを活用できるサービスなどにつなぐ方法を伝えていくよう検討。

[審議事項]なし ← あいさつ回りでやり取りの情報を記録し情報が共有できるようにしてほしい。

### 4. 福祉用具委員会[報告者：石森]

#### [報告事項]

1) 福祉用具相談支援システムの県士会員への周知について

令和4年1月発刊のニュースにて、県士会員へ福祉用具相談支援システム登録のアナウンスを掲載するとともに、クリアファイル(1施設1枚)、福祉用具相談支援システムについての三つ折りチラシ(1会員に1枚)を郵送する。今後、福祉用具相談支援システムへの登録者数や実際の相談件数を適宜報告していく。

2) 福祉用具相談支援システム合同業務連絡会の参加について

令和4年2月6日に開催される福祉用具相談支援システム合同業務連絡会について、日本作業療法士協会 生活環境支援推進室より参加の依頼があった。柴田副会長、石森理事が参加予定。

3) 福祉用具委員会を設置したことに関する行政への周知について

群馬県作業療法士会に福祉用具委員会が設置されたことの行政への周知について、会長、副会長、理事の方々へ周知に用いる書類10セットを郵送し、行政や関連職種団体との要件に合わせて配布していただくようお願いした。更に、周知した自治体や関連団体については福祉用具委員会へ報告していただく旨も併せてお願いした。周知されていない自治体については、地域局へ周知を依頼した。

※令和4年1月20日までに周知した自治体および関連団体

自治体: 前橋市、伊勢崎市、太田市、沼田市、みなかみ町、下仁田町、玉村町、片品村、安中市(予定)、邑楽町(予定)、榛東村(予定)、川場村(予定)、昭和村(予定)

関連団体: 群馬県庁健康長寿社会づくり推進課、利根沼田医師会、群馬県看護協会、群馬県教育委員会、日本建築士会連合会群馬支部、群馬県介護支援専門員協会

【審議事項】なし

## 5. 学術部 [報告者: 李]

### 【報告事項】

1. 第2回学術部会議を実施した。

【審議事項】なし

### 1) 学術研究グループ

#### 【報告事項】

①学術研究グループの勉強会を現在までに7回開催した。

②全国OT学会3名、北関東心越ブロック学会に2名が演題を出す予定

【審議事項】なし

### 2) 学会支援グループ

#### 【報告事項】

①第23回群馬県作業療法学会の会計報告資料を作成した。

②第24回群馬県作業療法学会の運営支援を行った。

#### 【審議事項】

① 群馬県作業療法学会 運営マニュアルについて、参加費の統一、県士会員の講演・一般演題発表の機会増加を目的に下記2点の追加を行いましたのでご審議いただければ幸いです(参考資料:資料1\_群馬県作業療法学会\_運営マニュアル\_変更案)。

1) 群馬県作業療法学会開催規定に参加費・謝礼金に関連する記載を追加した(マニュアルp3、p6)。

2) 学術部で推奨する学会スケジュール案に関する記載を追加した(マニュアルp6)。

②群馬県作業療法学会実行委員の参加費について

これまで、県学会実行委員の参加費等は実行委員役員が決定しており、開催時期ごとに実行委員の参加費を県士会員と同額、もしくは無料にするなど金額に偏りが認められた。上記審議・検討事項1の県学会参加費の記載の追加に伴い、実行委員の参加費についても一定のルールを設けた方が良いのではと実行委員よりご意見を頂いており、理事会でご検討していただければ幸いです。学会支援グループとしては以下の3案のいずれかが良いのではないかと考えております。

案1: 実行委員の参加費は県士会員の参加費と同額

案2: 実行委員の参加費は県士会員の参加費の半額

案3: 実行委員の参加費は無料

→ 案3: 無料 で承認。

### 3) 機関誌編集グループ

#### 【報告事項】

① 機関誌編集マニュアルについて、牛込学術部長を中心に内容の見直しを行った。内容について、大きな変更点はないが、別々に分かれていた規定、業務マニュアルを「学会誌・機関誌編集マニュアル」として1部

に集約した

(参考資料:資料2\_学会誌・機関誌編集マニュアル)。

②学会開催時期の前倒しのスケジュールに合わせ、例年は5月末であった論文の投稿締め切りを3月末とした。

③第23回学会での演題発表者に機関誌への投稿に関するお願いをメールにて連絡した。

【審議事項】なし

## 6. 運転と作業療法特設委員会 [報告者: 李]

### 【報告事項】

1) 2022年1月22日に「運転と作業療法委員会2021年度士会協力者会議」に参加した。

#### 【審議事項】

1) 県内施設へのアンケート調査実施、メール配信は事務局にお願いしたい → メール配信は事務局にて行う方向で承認。

## 7. 養成校連絡協議会 [報告者: 高坂]

### 【報告事項】

1) 3月12～13日 令和3年度第5回臨床実習指導者講習会(群馬県講習会)をOnlineで実施予定である(受講予定者27名、主担当校:群馬パース大学)。

【審議事項】なし

## 8. 地域作業療法推進部 [報告者: 高坂]

### 【報告事項】

#### 1) 地域包括ケア推進グループ

①11月17日～12月5日 市町村を対象とした「地域支援事業の実施状況並びに作業療法士の関与に関する調査」を実施した。35市町村のうち18市町村から回答を得られ、そのうち大泉町、邑楽町よりOT士会と連携を図りたいとの回答が得られた。

②12月15日 高崎市地域ケア会議見学に真塩部長が参加した。12月17日 Web会議を開催した。

③1月19日 高崎市地域ケア会議見学に真塩、宮寺、榊原、高橋が参加予定である。

④1月29日 「介護予防に資する人材育・指導者育成研修会 これからの地域ケア会議 ニューノーマル時代の地域を創る・支える」の実施形態をOnline研修に変更した。(定員100名)

#### 2) 認知症支援推進グループ

①12月23日 グループ会議と研修会チラシの郵送作業を行った。第1回研修会の振り返り及び令和4年2月12日に予定している第2回研修会の準備について検討した。

②第2回研修会のテーマは「地域で支える認知症ケアの今～多様性を理解する社会づくりを目指して～」とし、認定NPO法人じゃんけんぽんの副理事長の佐塚昌史氏、医療法人大誠会内田病院の理事長の田中志子氏、公益財団法人認知症の人と家族の会の群馬県支部代表の田部井康夫氏に講師を、群馬医療福祉大学教授の山口智晴氏にシンポジウム司会を依頼する方向で講師依頼や参加者募集等の準備(12月23日に県内全事業所にチラシを発送)を進めている。

③1月30日 Zoom遠隔で開催されるOT協会主催の「令和3年度士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」へ部員の笹谷と佐藤が参加予定である。

#### 3) 精神科領域推進グループ

①12月17日19:30～21:00「第2回作業療法士のためのメンタルヘルス情報交流会」をwebで実施した。「精神科作業療法の再考」をテーマにし、作業療法計画などを中心に意見交換を行った。

②令和4年2月5日開催予定の自殺対策強化事業Online研修会は、テーマを「こころのSOSに気付いたら～みんなで考える自殺予防～」とした。県士会員への広報に加え、群馬県公認心理師協会、群馬県精神保健福祉士会に広報の依頼を行い、県立高校、私立高校、特別支援学校に資料の送付を行った。

#### 4) 発達支援推進グループ [報告者: 勝野]

①11月21日 14:00～16:00 第2回発達支援推進グループ研修

会(保育士等研修会)「なに使う?いつから?お箸までの手の発達」をオンラインで開催し、講義とブレイクアトルームに分かれてのワークショップを行った。参加申し込み数40名で当日参加者は38名、ボランティアOTスタッフ19名(うち部員12名)で対応した。アンケート結果は概ね良好で、次の参加も希望される声が複数みられた。

- ②11月26日 群馬県教育委員会にてオンラインで開催された令和3年度第4回専門アドバイザー研修会において、外部専門家派遣事業でのOT支援の内容について六本木が講義を行った。
- ③令和4年1月13日 定期勉強会をオンラインで開催した。北爪浩美氏より昨年度の県士会学会教育講演を基にして支援の実際について提示していただき、質疑応答を行った。参加者は27名であった。次回は3月10日(木)に開催予定である。

【審議事項】なし

## 9. POS連絡協議会【報告者:山口】

【報告事項】

### 1) 介護予防部

- ①シンポジウム「アフターコロナを見据えた通いの場のあり方」  
日時:2022年1月21日(金)19:00~21:00 WEB開催
- ②災害支援に関する研修会  
3月18日に岡山県の事例でWEB開催の方向で準備中

### 2) 地域ケア会議部

日時:2022年2月25日(金)19:00~21:00 WEB開催  
概要:群馬県の現状と課題・展望と埼玉県の取組として岡持利巨氏(霞ヶ関南病院)からこれからの自立支援型地域ケア会議の方向性も含めて学ぶ研修会を開催する

### 3) 地域包括ケアシステムのさらなる進化に向けたGAOTにおける課題(継続課題)

- ・ POSとの組織的連携および、GAOT内でのPOS業務の組織建て

【審議事項】なし

## 10. 第7回北関東信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会

【報告者:山口】

【報告事項】

### 1) 運営に向けた検討

- ・21/08/16、21/10/12、21/12/10、22/01/12に検討会議を開催

### 2) 開催の方向性(案)

- ①テーマ:これからの社会と作業療法 ~群馬で考える作業療法のnext stage~
- ②日程:2022年11月26日(土)~27日(日)
- ③会場:K' BIX元気21まえばし3階ホールと5階各学習室を仮予約済み  
COVID-19対策特例として支払いは次年度で可
- ④実施形態:基本的には対面を想定。感染状況に応じてWEB切り替えは準備する。ワークショップなど講演等の一部はWEBでのオンデマンド配信を予定。
- ⑤概要:テーマや講師等は現在検討中。基本方針はあくまでも県内の取り組み発信を中心とした県学会の位置づけを重視する。そのため、地域作業療法推進部や福祉用具・自動車運転などの特設部局などの協力を得た実践的なワークショップなども充実させたい。
- ⑥今後:各士会への日程の周知案内を早急に行う。実行委員の招集は3月頃、GAOT内各部局への正式な協力要請は4月頃を予定。

【審議事項】

- 1) 上記内容で進めることに対する 賛・否  
→ 承認

## 11. 事務局【報告者:長谷川】

【報告事項】

- 1) 研修会参加費徴収システム(Peatix)の運用に関する報告  
問い合わせ2件、通常の事務的な処理範囲内。→次回理事会で正式運用の審議予定。

- 2) 県士会HPへの研修会案内掲載依頼の専用フォームの設置について  
①設置目的:1)掲載依頼方法の明確化。2)手続きの簡素化  
②導入時期:2022年2月予定

- ③県士会主催研修会のHP掲載依頼に関する周知のお願い  
2022年2月から専用フォーム(県士会HPお問い合わせのページ)から掲載依頼の連絡をお願いしたい。専用フォームから依頼した場合は事務局(長)へのメール連絡は不要。  
※研修会以外のHP記事掲載については今まで通りメールでの連絡をお願いします

- 3) 退会・異動手続きのオンライン化について  
退会/異動手続き:web上で完結できるように対応検討  
高橋事務局長、事務員さんと方法について検討 2022年3月~運用開始見込み

【今後の事務局での検討事項】

- 1) ホームページ運用及び研修会掲載に関する規約について  
規約の作成目的  
HP掲載基準、HP作成権限、研修会掲載可能団体の範囲を明らかにしておくため。  
→次回理事会で規約の審議予定  
※SNS等に関する内容を含むので、広報部との協議の上、規約作成したい

- 2) 入会手続きの簡素化  
来年度からオンラインでの入会手続きができるように検討  
支払い方法の検討が必要。  
2025年以降、会費管理は協会一元管理になるため初期投資は最少にする。

- 3) 部員の行動交通費、活動手当(日当)の規約の見直しについて(提案)  
提案理由  
各部会活動がオンラインに移行しており、実情に合わせた活動費用の見直しが必要と思われる。  
→次回理事会時に活動費用見直しの検討  
(審議自体はそれ以降で)

【審議事項】なし



# 会員の学術活動支援企画

## 【目的】

日々の臨床で感じる疑問を①具体化、言語化し、②学術研究に適した研究デザインを構築、③正しい統計処理を実施、④学術発表の場で発表できる能力を備えた会員を育成する。

## 【対象】

- ・学会発表、学術論文作成に関心のある会員（OT学会だけではなく他の学会にも対応します）
- ・英語での抄録作成・発表に関心のある会員

## 【スケジュール】

7～2月：月1回の勉強会（全日程の参加を原則とし、日時は参加者決定後に調整）

会場：オンライン 時間19:30～21:00

（翌年）7～8月：学会発表前の原稿作成

	OT学会	一般的応募スケジュール	当勉強会
2022年 7月		テーマの検討	アイデアの具体化
8月			〃
9月			「文献検索」解説
10月		発表内容の検討	データ収集
11月			〃
12月			「統計ソフト(SPSS)使用」解説
2023年 1月	演題応募	演題原稿作成・応募	「演題登録原稿作成」解説
2月	演題応募		〃
3月			
4月			
5月	結果通知		
6月			
7月		発表原稿作成	発表原稿作成
8月			〃
9月	発表学会		

## 【担当者】

学術研究グループ 近藤健（群馬パース大学）、佐藤里沙（榛名荘病院）、李範爽（群馬大学）

連絡先：kenkondoot@gmail.com（近藤）、締め切り 2022年7月8日（金）迄

※学術活動に関わる相談も随時受け付けています。

## 事前に相談会を開催します

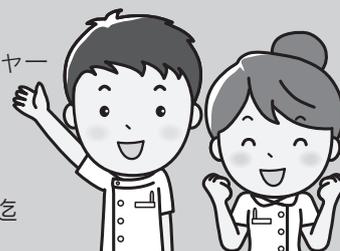
ミニレクチャーもありますので、ご興味のある方であればどなたでも参加できます。

内容：研究デザイン、統計処理、文献検索、スライド、ポスター作成のミニレクチャー  
研究活動についての相談

日時：2022年6月17日（金）19:30～21:00

場所：オンライン（参加者には後日URLを送ります）

連絡先：kenkondoot@gmail.com（近藤） 締め切り：2022年6月10日（金）迄



## 第 31 回 日本作業行動学会学術集会 温故知新～作業療法の未来図～

この度、第 31 回日本作業行動学会学術集会を 2022 年 6 月 18 日（土）～6 月 19 日（日）の 2 日間にわたり、群馬パース大学（〒370-0006 群馬県高崎市問屋町 1 丁目 7-1）で開催します。

今年で 30 年を迎える本学会ですが、作業行動理論、人間作業モデルは、我が国の作業療法にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。これまでの歴史を通し、未来を考え、将来を形作ってゆく節目の学術集会にと考え、テーマを『温故知新～作業療法の未来図』としました。現地およびオンラインによる開催を予定しています。

内容は下記の通りです。なお、会場である群馬パース大学の最寄り駅は、高崎問屋町駅より徒歩 10 分ほどです。東京駅から新幹線と在来線で約 1 時間です。皆様のご参加をお待ちしております。

### 記

日 時：2022 年 6 月 18 日（土）・19 日（日）両日とも受付 9 時 30 分

場 所：群馬パース大学 1 号館 (<https://www.paz.ac.jp/>)

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町 1-7-1

参加費：

学術集会（事前申込）

会員両日 5,000 円 1 日参加 2,500 円

非会員両日 6,000 円 1 日参加 3,000 円

学術集会（当日申込）

会員両日 7,000 円 1 日参加 3,500 円

非会員両日 8,000 円 1 日参加 4,000 円

学部生 無料

大会長講演：温故知新～作業療法の未来図～

竹原 敦 先生（群馬パース大学教授）

特別講演：日本の作業療法の発展に寄せて～作業行動の黎明期から人間作業モデルまで～

山田 孝 先生（一般社団法人日本人間作業モデル研究所代表理事、  
東京保健医療専門職大学教授、東京都立大学名誉教授）

内 容：大会長講演、特別講演、シンポジウム

申し込み：第 31 回 日本作業行動学会学術集会の公式 HP より入力ください。

<http://ob2022gunma31.kenkyuukai.jp/>



---

連絡先：第 31 回 日本作業行動学会学術集会 事務局 宮寺寛子

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町 1-7-1 群馬パース大学

E-mail：e-mail：ob2022.gunma31@gmail.com

## 群馬パース大学リハビリテーション学部作業療法学科

### 【概要】

群馬パース大学は1998年4月に群馬パース看護短期大学としてスタートし、2002年4月には理学療法学科を加え、2005年には4年制大学となり、2010年4月より現在の高崎問屋町に新キャンパスとして誕生しました。その後、検査技術学科、放射線学科、臨床工学科が開設され、2021年4月にリハビリテーション学部作業療法学科と言語聴覚学科が開設された医療に特化した3学部7学科の大学です。

Pazは平和を意味するポルトガル語、パース (Paz) に由来します。同時にPazにはこの3文字を頭文字とする Pessoa (個性)、Assistencia (互助)、Zelo (熱意) の意味が与えられています。

### 【作業療法学科の紹介】

1年生35名を一期生として迎え入れたばかりの出来たての学科です。教員は当初の予定通り10名の作業療法士の専任教員がそろいました。村田和香(リハビリテーション学部長、教授)、石井良和(作業療法学科長、教授)、竹原敦(教授)、南征吾(教授)、吉岡和哉(准教授)、宮寺寛子(准教授)、馬場順子(准教授)、岡田直純(講師)、近藤健(助教)、石代敏拓(助教)の面々です。対象者が「自分らしく生きること」を支援するを合言葉に教育に携わっています。近藤先生以外は群馬県外の出身者ではありますが、「野菜がおいしい」「ゴルフ場が多い」「温泉がいい」「古墳に興奮した(ダジャレではなく実感です)」などの声が聞かれ、群馬の魅力を日々発見しています。

2021年12月12日(日)に行いました第1回PAZ-OT教育講座では本学が理想とする教育的特徴をお伝えすべく、村田学部長より「自分らしさの実現」について、石井学科長より「人間作業モデル概要」をお話しさせていただき「本学科の教育方針」といたしました。また、東京都立大学の小林隆司教授からは臨床実習の在り方に関連した「臨床参加型実習の概要」をお話しいただき、学生の貴重な体験を指導者の先生方とともに体感できる基本的考え方をお伝えできたかと思えます。今後も年に数回の教育講座という形で開催いたします。

養成校は一人でも多くの作業療法士を世に出して、求められる作業療法士として育てるのが使命です。リハビリテーション領域の大学院もできました。他の養成校とも協力し、皆さまとともに学びつつ、受験生があこがれるような大学を目指し、群馬から作業療法を全国に発信したいと思います。



# 投稿大募集!!



ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や  
日常業務で工夫している点、こんな研修会に  
参加した・・・などなど、皆様からの投稿を  
募集しております。  
どんなことでも構いませんので、  
お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス : koha.yuu@yahoo.ne.jp  
広報部・ニュース編集グループ  
反町拓海



県士会ホームページアドレス

<http://www.gunma-ot.org/>



## 編集後記

新年度となり、新しい生活が始まった方も多くいらっ  
しゃるかと思います。

今号では柴田理事をはじめ、県士会各ブロックにつ  
いての紹介や尽力されているブロック長の方に記事を  
執筆頂きました。県士会の組織について紹介する機会  
はあまりなく、意識しないとわからないことも多いかと思  
います。この機会にぜひ自身の所属するブロックにつ  
いてや、県士会という組織そのものについて関心を抱い  
て頂けたらと思います。

会員の皆さま、新年度もよろしくお願い致します。

S

## 群馬県作業療法士会ニュース

発行者 || 新井 健五

発行所 || 群馬県作業療法士会事務局 〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL・FAX 027-224-4649

編集代表 || 反町 拓海 編集委員 || 関 仁紀、下田 幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅 印刷 || 星野印刷株式会社